

# ArcGIS Desktop10.8.1 インストールマニュアル

## インストールプログラムの入手 (ESRI ジャパンから)

- 0. ESRI ジャパン「アカデミックパック: ArcGIS Desktop 製品 ダウンロードページ」(下記 URL) にアクセスします。  
[https://esri-japan-support.custhelp.com/app/answers/detail/a\\_id/7776#tab2](https://esri-japan-support.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/7776#tab2)

### 必須インストールプログラム から

- (1) ArcGIS Desktop 10.8.1 (ArcGIS\_Desktop\_1081\_ja\_175117.exe) [EXE 1.2GB] と
- (2) 国内対応パック (JpnPack\_Desktop10\_8\_1.msi) [MSI 65.4MB] の2つのインストールプログラムファイルをダウンロードしてください

\*必要に応じてパッチや追加プログラム等をあてます

## インストールの実行 (ArcGIS10.8.1 → 国内対応パック → \*パッチの順)

注意: インストール時および、ArcGIS の起動時・使用時には学内ネットワークに接続し、ライセンスサーバ(27004@arcgis.u.tsukuba.ac.jp)と通信する必要があります。学外で使用の際は、学術情報メディアセンターが提供している VPN サービスを利用して学内ネットワークに接続してください。(学生宿舎は 2017 年 3 月から学内ネットワークではなくなりました。学外と同様に VPN サービスを利用してください)

1. ダウンロードした ArcGIS\_Desktop\_1081\_ja\_175117.exe ファイルを先にインストールします。右クリックで [管理者として実行] をクリックしてください。ユーザアカウント制御画面が表示される場合は「はい」をクリックします
2. プログラムが自動的に展開されます。ダイアログにしたがいインストールしてください。
3. 「ArcGIS Desktop 10.8.1 が正常にインストールされました」という画面が表示されたら [完了] をクリックします。

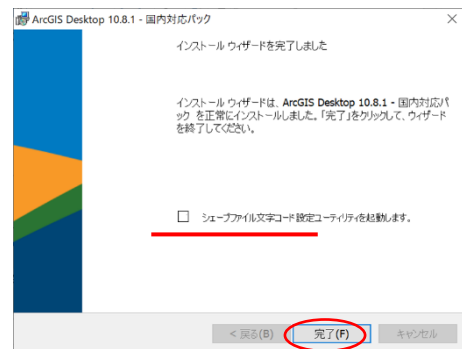
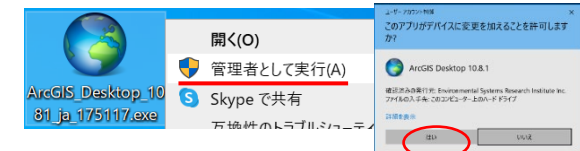
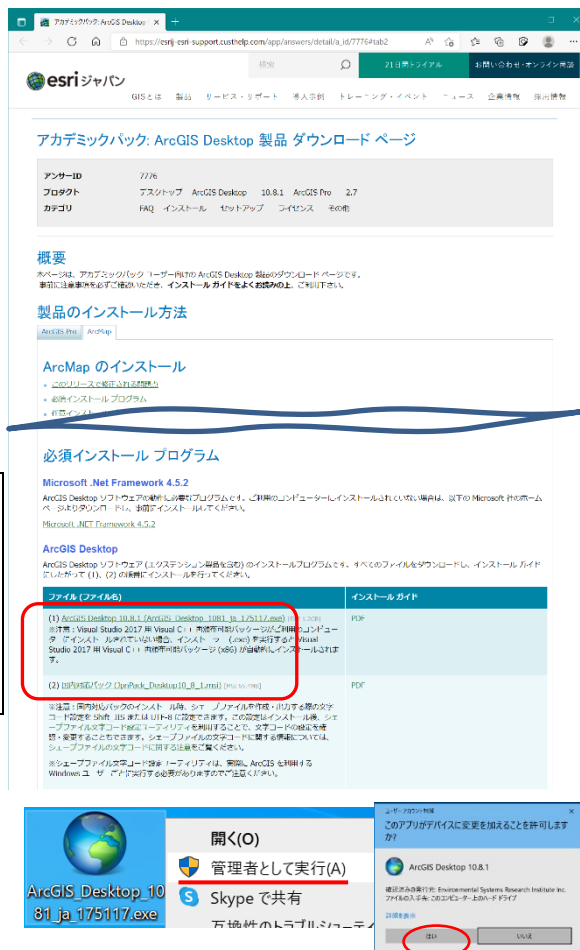
**ArcGIS Administrator ウィザード(ライセンス認証)が起動しますがあとで設定します。「キャンセル」をクリックしてください。**

4. 自動的に「ArcGIS Desktop 10.8.1 - 日本語パック」のインストールが始まります。“…セットアップが正常終了しました”と表示されるのを待って「OK」をクリックしてください。

## 国内対応パックのインストール

日本用フォント・スタイル、日本用座標系ファイル、国内データ変換ツールなどをインストールします。

5. 項目 0. でダウンロードした JpnPack\_Desktop10\_8\_1.msi をダブルクリックで実行させます。
6. 国内対応パックのインストールウィザードが起動します。ダイアログにしたがってインストールしてください。
7. 「ArcGIS Desktop 10.8.1 -国内対応パック を正常にインストールしました」画面が表示されます。“シェープファイル文字コード設定ユーティリティ起動”のチェックを外して [完了] をクリックします。



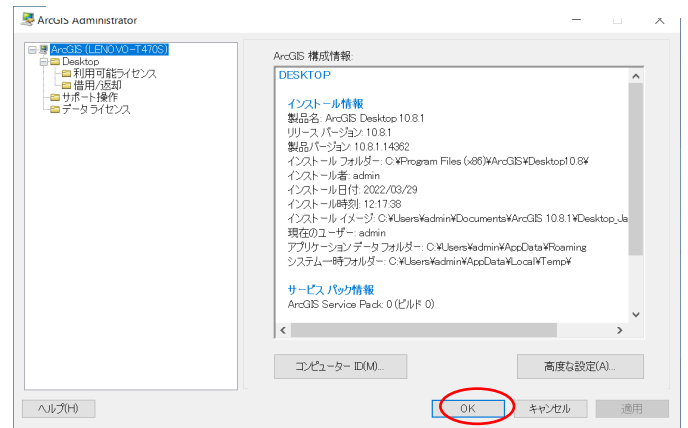
## ライセンス認証

8. スタートメニューから「ArcGIS」>「ArcGIS Administrator」を実行

製品選択は(同時使用)のものから選びます。“今すぐライセンスマネージャを定義”を選んで「27004@arcgis.u.tsukuba.ac.jp」と入力し、「OK」をクリックしてください。



正しく設定できると ArcGIS Administrator が起動します。  
「OK」をクリックします。

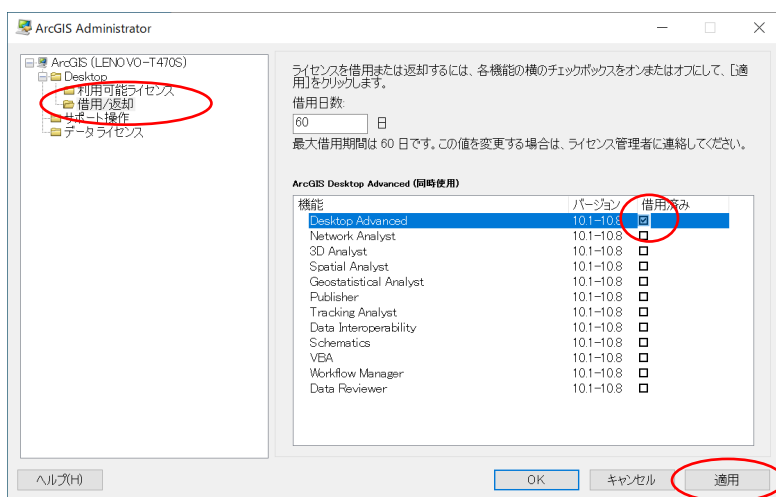
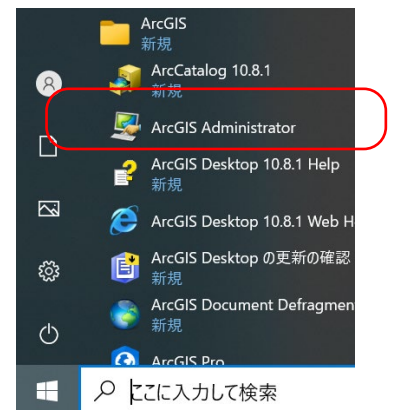


## ライセンスの借用と返却

ArcGIS の起動には学内ネットワークへの接続が必要ですが、ネットワークに接続できない場所で ArcGIS を使用したい場合にライセンスを借用することで一定期間(60 日)に限ってライセンスサーバへの接続なしに ArcGIS が使えるようになります

1. スタートメニューから「ArcGIS」>「ArcGIS Administrator」を実行
2. ArcGIS Administrator のダイアログが表示されます。

借用/返却フォルダを選択し、借用したい機能のチェックボックスに✓をつけて【適用】をクリックします。ライセンスを借用したら【OK】をクリックして ArcGIS Administrator を閉じます。ネットワークから切断されている間でも ArcGIS ソフトウェアを使用できるようになります。



借用したライセンスの有効期間(タイムアウト)は 60 日間です。有効期間が過ぎるとそのライセンスは自動的に無効になります。この期間内にライセンスを返却する場合は、チェックボックスの✓をはずして【適用】をクリックします。